

報道関係各位

Press Release

2025年3月17日

すべての産業の新たな姿をつくる



オーダーメイド AI 開発
『カスタム AI』

株式会社 Laboro.AI

株式会社 CAGLA の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

株式会社 Laboro.AI

代表取締役 CEO 椎橋徹夫・代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将

オーダーメイドの AI・人工知能ソリューション開発および AI 導入コンサルティング『カスタム AI』を展開する株式会社 Laboro.AI（ラボロエーアイ、東京都中央区、代表取締役 CEO 椎橋徹夫・代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将。以下、当社）は、2025年3月17日開催の取締役会において、株式会社 CAGLA（カグラ、愛知県豊田市、代表取締役 飯銅英隆。以下、CAGLA）の株式を取得し、子会社化することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件についての詳細は、当社 HP の IR 情報ページに掲載の適時開示資料でご確認いただけます。

<https://laboro.ai/ir/>



株式取得の理由

この度、当社が株式を取得することを決定した CAGLA は、企業向けデザインおよびシステムの企画・開発、PC・スマートフォン・タブレット向けアプリケーション開発、AI および UI/UX の研究開発、デザイン・映像制作など、多岐にわたる事業を展開している企業です。特に、グラフデータベース（※）の開発に強みを持ち、自動車産業をはじめとする顧客に対し、データ管理システムの構築も行っております。

今般、グラフデータベース技術に強みを持つ CAGLA をグループに迎えることで、当社が展開するカスタム AI とのシナジーを見込んでおります。具体的には、同社が保有するグラフデータベース技術は、当社の注力する領域の一つである生成 AI/LLM（大規模言語モデル）を活用したプロジェクトとの親和性が高い技術と考えており、同社が持つ強みと、当社の生成 AI/LLM の産業実装に関する強みを融合し、新たなソリューションの開発やグラフ RAG 等を活用したプロジェクトの共同提案等を通じ、顧客への更なる付加価値提供を目指します。

また、同社は自動車産業をはじめとする製造業の顧客基盤を有しており、当社の注力産業分野の一つである「研究開発型産業」における AI 実装に強みを持つ当社との親和性が高いと考えております。同社の顧客に対しては AI を活用したコア業務の高度化・効率化を協働で提案し、当社の顧客に対してはグラフデータベース技術を活用したデータ管理システムの提案を行うこと等を通じて、相互の事業拡大を目指します。

子会社（株式会社 CAGLA）の概要

CAGLA の企業概要は以下の通りです。なお、株式譲渡実行日は 2025 年 4 月 1 日を予定しており、当社は同社からの株式譲渡後、議決権の 100%を所有いたします。

(1) 名 称	株式会社 CAGLA
(2) 所 在 地	愛知県豊田市曙町 5 丁目 35 番地 2 ファセット土橋 1 階 B 号室
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 飯銅 英隆
(4) 事 業 内 容	企業向けデザインおよびシステムの企画、開発（社内、請負）・PC、スマートフォン、タブレット向けアプリケーション開発（社内、請負）・AI および UI/UX の研究開発
(5) 資 本 金	1,000 万円
(6) 設 立 年 月 日	2017 年 5 月 19 日
(7) 企業サイト	https://cagla.jp/

今後の見通し・両代表コメント

当社は、コア事業であるカスタム AI に隣接する領域（システム開発、データ基盤構築 等）の知見の獲得及び、AI/DX による非連続な事業価値向上が見込まれる市場への参入に向けた手段として、M&A を成長戦略の一つとしており、今般の CAGLA の連結子会社化により、双方での事業拡大を目指します。

なお、当社グループ（連結）の業績に与える影響は現時点で精査中であり、今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以下、両代表者のコメントを紹介いたします。

当社 代表取締役 CEO 椎橋徹夫

「当社は『すべての産業の新たな姿をつくる。』『テクノロジーとビジネスを、つなぐ。』のミッションのもと、各産業の価値向上（バリューアップ）につながる AI ソリューションの開発・提供に取り組んでいる。CAGLA が保有するグラフデータベースをはじめとした技術知見は、当社事業、とくに生成 AI や LLM に関わるカスタム AI 開発において、大きなシナジーを生み出すと確信しており、今後、両社の強みを融合することで、従来の枠にとらわれない産業貢献の在り方を追求することに挑んでいきたい。」

CAGLA 代表取締役 飯銅英隆

「当社はシステムデザイン・開発・アーキテクトが密接に結びついた革新的で使いやすいシステムを強みに事業を展開。今回、当社の強みであるグラフデータベース技術と、Laboro.AI の高度なカスタム AI 開発力を融合させることで、より革新的なサービスを提供できると確信している。また、両社の融合により、これまで実現が難しかったデータ活用の高度化や、次世代の AI 技術開発も加速できると考えている。これまで以上にお客様貢献できるよう、今後も同社グループの一員として新たな価値創出に貢献してまいりたい。」

(※) グラフデータベースとは、データをノード（点）とエッジ（線）として扱い、関係性を視覚的/直感的に扱うデータベースを指します。データ同士の繋がりを表現するグラフ構造に基づいてデータを格納するため、データ間の関係性をたどる操作を高速に処理することが可能となります。

ご参考情報

■株式会社 Laboro.AI 会社概要

会社名：株式会社 Laboro.AI（ラボロ エーアイ）

所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 11-1

代表者：代表取締役 CEO 椎橋徹夫・代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将

設立：2016年4月

事業内容：機械学習を活用したオーダーメイド型 AI 『カスタム AI』の開発/カスタム AI 導入のためのコンサルティング

URL：<https://laboro.ai/>

以上

<本リリースに関するお問い合わせ>

株式会社 Laboro.AI マーケティング部 広報 中村麗奈

Mail：press@laboro.ai Tel：03-6280-6564（代表）